

9月23日(日) 口頭発表 9:00-11:15		
9月	理学部1号館中央棟 2F 小柴ホール	理学部化学本館 2F 1204室
23日	K3: 鉱物の構造と結晶化学 (9:00-11:00)	G5: 火山及び火山岩 (9:00-11:15)
午前	座長: 杉山和正・薛 献宇	座長: 大場孝信 (9:00-10:00) 座長: 中村美千彦 (10:00-11:15)
9:00	K3-01 Dissakisite-(Ce)の結晶構造と希土類元素パターンによる化学ゾーニングの生成機構の解明 ○星野美保子・木股三善(筑波大・生命環境)・西田憲正(筑波大・分析)・清水雅浩(筑波大・生命環境)	G5-01 発泡した流紋岩質メルトの剪断変形実験: 気泡組織の進化 ○奥村 聡・中村美千彦(東北大・院理)・土山明(阪大・院理)・中野 司(産総研)・上杉健太郎(JASRI)
9:15	K3-02 Alunite(明礬石)族鉱物の結晶化学 ○佐藤恵理子・中井 泉(東理大・院理)・寺田靖子(SPring-8)・宮脇律郎・松原 聰(国立科博)	G5-02 発泡流紋岩質メルトの拡散脱水と気泡再溶解 ○吉村 俊平・中村美千彦(東北大・院理)
9:30	K3-03 マンガンを含む角閃石の結晶構造解析およびXANESによるMnの酸化状態の決定 ○織田公平・三河内 岳・杉山和正(東大・院理)	G5-03 流紋岩質軽石の気泡連結度: 火砕流噴火におけるfoaming抑制過程の再現 大瀧恵一(東北大・院理, 全日空)・中村美千彦(東北大・院理)・竹内晋吾(産総研)
9:45	K3-04 Humboldtineおよびlindbergite単結晶の合成: X線回折法と赤外線分光法による結晶構造の精密化 ○越後拓也・木股三善(筑波大・生命環境)	G5-04 かんらん石スピネフェックス組織の成因: レビュー ○石渡 明(金沢大・理)・市山祐司(宝石貴金属協会)
10:00	K3-05 オリビンにおける陽イオンの席選択性 ○猪塚 幸・栗林貴弘・工藤康弘(東北大・院理)	G5-05 浅間火山天明(1783)噴火の末期に放出したカンラン石メダクリスト ○山口佳昭(信州大)・小林純子(片山化学工業研究所)
10:15	K3-06 Hydrus forsteriteのM-site, T-site vacancyと可能な水素位置について ○工藤康弘(東北大・院理)	G5-06 浅間火山天明噴火噴出物の水素同位体組成 ○佐藤典子・中村美千彦(東北大・院理)
10:30	K3-07 高圧含水マグネシウムケイ酸塩D相及びsuperhydrous B相の構造: $1\cdot 2$ 次元 $^1\text{H}$ 、 $^{29}\text{Si}$ NMRによる情報 ○薛 献宇・神崎正美・Shatskiy Anton(岡大・地球物質研セ)	G5-07 北部フォッサマグナ、関田山脈~鳥甲火山地域の鮮新-更新世火山岩類 ○五十嵐 聡(法政大第二中)・有馬 真(横国大・環境情報院)
10:45	K3-08 キャンセル	G5-08 北部フォッサマグナ地域に分布する鮮新世火山岩類の岩石化学および鉱物化学的研究 ○大場孝信・仲野真理子(上越教大・自然系)・佐藤徹也(西城中)・遠藤 聡(相川中)
11:00		G5-09 鬱陵島、羅里盆地におけるカルデラに伴う火成活動 ○金 容義・坂本 泉(東海大・海洋)・Lee Hyun Koo(忠南大学・地球環境科学)
9月23日(日)ポスターセッション 理学部1号館中央棟 3F 336室		
11:15-12:15 コアタイム		

9月23日(日)口頭発表 9:00-11:15		
9月	理学部化学本館 3F 1304室	理学部化学本館 4F 1404室
23日	G4: 深成岩及び変成岩 (9:00-11:15)	G2: マグマの発生・上昇・定置 (9:00-11:00)
午前	座長: 堤 之恭 (9:00-10:15) 座長: 外田智千 (10:15-11:15)	座長: 栗谷 豪 (9:00-10:00) 座長: 平野直人 (10:00-11:00)
9:00	G4-01 オントンジャワ海台下に存在する原生代マントル Re-Os同位体からの証拠 ○ 石川 晃・ Pearson D. Graham・ Dale Christopher W. (英国・ダラム大・地球科学)	G2-01 デジタル地質図(東北地方)上に構築した岩石化学組成、年代測定値データベース ○ 布原啓史(テクノ長谷)・吉田武義・山田亮一(東北大・院理)・池田浩二・荒川雅樹(テクノ長谷)・丸茂克美(産総研)
9:15	G4-02 カメルーン火山列におけるかんらん岩捕獲岩の組織・化学組成の不均質について ○ 大谷麻実・松影香子・田切美智雄(茨城大・理)	G2-02 後期新生代、東北本州弧における大規模珪長質マグマ組成の時空変遷 ○ 吉田武義・山田亮一・中村美千彦(東北大・院理)・長橋良隆(高橋友啓(福島大)・木村純一(島根大・総合理工))
9:30	G4-03 同源二酸化炭素流体包有物群の密度のサイズ依存性 ○ 水上知行(名大・環境)	G2-03 後期新生代、東北本州弧における鉍化作用の時空変遷 ○ 山田亮一・吉田武義(東北大・院理)
9:45	G4-04 堇青石中のH <sub>2</sub> O-CO <sub>2</sub> のラマン分光法による検出と高温～超高温変成作用の解析への応用と意義 ○ 外田智千(極地研)	G2-04 北西太平洋の複数回の火山イベントー白亜紀から現在までー ○ 平野直人(東大・院理)
10:00	G4-05 チェコ共和国Nove Dvoryに産するGföhl酸性岩のラマン分光岩石学 ○ 小林記之・平島崇男(京大・院理)・ Martin Svojtka(チェコ地質アカデミー)・廣井美邦(千葉大・理)	G2-05 玄武岩質マグマ溜まりの熱進化 ○ 栗谷 豪(東北大・院理)
10:15	G4-06 Eclogitic clasts in a conglomerate bed overlying the Choloktor suite of HP metamorphic rocks in the Atbashay Range, Southern Tien-Shan Kyrgyzstan ○ Baslakunov J. Usonbekovich・ Takasu Akira(Shimane Univ.)・ Tagiri Michio(Ibaraki Univ.)・ B.A. Bakirovich・ S. K. Satybaldynovich(Inst. Geol., Kyrgyzstan)	G2-06 扇ノ山玄武岩質マグマに関する1気圧溶融実験 ○ 本間 潮(神戸大・院自然)・佐藤博明(神戸大・理)
10:30	G4-07 東南極のリュツォ・ホルム岩体、ルンドヴォークスヘッタ地域で見出された高温型エクロジャイト様岩について ○ 廣井美邦(千葉大・理)・本吉洋一(極地研)	G2-07 CTによるかんらん岩中のメソスケール3次元鉍物分布 小田島庸浩 ○ 小澤一仁(東大・院理)・土山明(阪大・院理)・中野 司(産総研)・永原裕子(東大・院理)・阿部雄一(東邦オリビン)
10:45	G4-08 中国蘇魯帯・仰口超高压ユニットの最高変成圧力の不一致 ○ 平島崇男(京大・院理)・吉田大祐(IBMシステムエンジニアリング)	G2-08 マントルゼノリスに隠されていた"critical melt fraction"? ○ 平賀岳彦(東大・地震研)・Kohlstedt David(ミネソタ大)
11:00	G4-09 ベトナム北部Sam Nua Depression Zoneにおける堆積岩及び火成岩の地球化学 Trung Nguyen(ベトナム地質鉍物資源研)・ Sajejev Krishnan(韓国延世大)・板谷徹丸(岡山理大・自然科学研)	
9月23日(日)ポスターセッション 理学部1号館中央棟 3F 336室		
11:15-12:15 コアタイム		

9月23日(日) 鉱物科学特別シンポジウム 13:00-15:00

理学部化学本館 5F 講堂

座長:小暮敏博

13:00 U1-01 マルチスケール構造に基づく岩石成因論に向けて:EBSD/FE-SEMによる微細構造の解析  
○小澤一仁(東大・院理)

13:30 U1-02 振動分光法を用いた鉱物科学研究の最近の進展  
○鍵 裕之(東大・院理)

座長:村上 隆

14:00 U1-03 応用的XAFS法(電子収量法、Quick scan法、蛍光分光法)による鉱物科学・地球化学研究  
○高橋 嘉夫(広島大・院理)

14:30 U1-04 同位体分析法の進歩による鉱物科学の新展開  
○ 塚本尚義(北大・院理)

9月23日(日) 口頭発表 15:00-17:00

9月	理学部1号館中央棟 2F 小柴ホール	理学部化学本館 2F 1204室
23日	K3: 鉱物の構造と結晶化学 (15:00-17:00) 座長:木股三善・河野元治	K5: 鉱物科学の新しい研究方法 (15:00-15:45) 座長:小暮敏博・黒澤正紀 G6: 惑星、隕石科学 (15:45-17:00) 座長:大西市朗
午後		
15:00	K3-09 MgSiO <sub>3</sub> perovskite の単結晶構造解析と結晶化学の温度効果 ○菅原正彦・吉朝 朗(熊大・院自然)・中塚 晃彦(山口大・工)・橋本崇史・酒井俊輔(熊大・院自然)・Nathalie Bolfan-Casanova (CNRS)	K5-01 球面収差補正STEMによる層状珪酸塩の高分解能観察 ○小暮敏博(東大・院理)
15:15	K3-10 高温その場粉末X線回折実験による高温型斜方輝石の構造解析 ○大井修吾・三宅 亮・下林典正・北村雅夫(京大・院理)・八島正知(東工大・総理工)	K5-02 タンデロン加速器を用いた流体包有物のPIXE分析 ○黒澤正紀(筑波大・生命環境)・笹 公和・石井 聡(筑波大・研究基盤総合セ)
15:30	K3-11 高圧下におけるMgSiO <sub>3</sub> ガラスの構造変化と物性 ○山田明寛・河野義生・井上 徹・入船徹男(愛媛大・地球深部研)・舟越 賢一(JASRI)・亀卦川卓美(高エネ研)	K5-03 MORBガラスの弾性波速度圧力依存性 ○河野 義生・大藤弘明・肥後祐司・井上 徹・入船徹男(愛媛大・地球深部研)・舟越賢一(SPring-8, JASRI)
15:45	K3-12 衝撃圧縮による合成オパール構造変化 ○井上 茜・奥野正幸・奥寺浩樹(金沢大・院自然)・真下 茂(熊本大)	G6-01 Tagish Lake隕石のコンドリュールを囲む細粒リムの成因:母天体における形成モデル ○高山亜紀子・留岡和重(神戸大・院理)
16:00	K3-13 16.5GPa・1600°Cで合成した無水K-Phase Xの結晶構造 ○松崎琢也・Shatskiy Anton(岡大・地球研)・萩谷健治(兵庫県大・理)・桂智男(岡大・地球研)	G6-02 エンスタタイトとFe/SiO <sub>2</sub> の水熱実験:CV, CRコンドライト中のコンドリュール水質変成過程・条件の検討 ○大西市朗・留岡和重(神戸大・院理)
16:15	K3-14 高温火山昇華物として産出するZnS鉱物の結晶化学 ○新田恵理子・木股三善・星野美保子・越後拓也(筑波大・生命環境)・濱崎聡志(産総研)・西田憲正(筑波大・研究基盤総合セ)・清水雅浩(筑波大・生命環境)	G6-03 衝撃によるオリビンと水からのサーペンティン生成実験:原始太陽系における水運搬媒体生成の可能性 ○古川善博・掛川 武(東北大・院理)・関根利守・中沢弘基(物質材料研)
16:30	K3-15 岡山県布賀産Sibirskiteの結晶構造 ○三浦裕行(北大・院理)・草地 功(岡山大・教育)	G6-04 炭素質CVコンドライト隕石の変成履歴についての考察 ○小松睦美・三河内 岳・宮本正道(東大・院理)
16:45	K3-16 形成過程の異なる古期中間型斜長石について ○三浦保範(山口大・理工)	G6-05 輝石組成ガラスに富むNWA 4719コンドライト中の衝撃ペイン ○木村 眞・福田博之(茨城大・理)・三河内 岳(東大・院理)・鈴木昭夫・大谷栄治(東北大・院理)

9月23日(日) 鉱物科学特別シンポジウム 13:00-15:00

理学部化学本館 5F 講堂

座長:小暮敏博

13:00 U1-01 マルチスケール構造に基づく岩石成因論に向けて:EBSD/FE-SEMによる微細構造の解析  
○ 小澤一仁(東大・院理)

13:30 U1-02 振動分光法を用いた鉱物科学研究の最近の進展  
○ 鍵 裕之(東大・院理)

座長:村上 隆

14:00 U1-03 応用的XAFS法(電子収量法、Quick scan法、蛍光分光法)による鉱物科学・地球化学研究  
○ 高橋 嘉夫(広島大・院理)

14:30 U1-04 同位体分析法の進歩による鉱物科学の新展開  
○ 塚本尚義(北大・院理)

9月23日(日) 口頭発表 15:00-17:00

9月	理学部化学本館 3F 1304室	理学部化学本館 4F 1404室
23日 午後	G4:深成岩及び変成岩(15:00-17:00) 座長:吉村康隆(15:00-16:00) 座長:河上哲生(16:00-17:00)	G1:サブダクションファクトリー(15:00-16:45) 座長:土谷信高(15:00-15:45) 座長:川本竜彦(15:45-16:45)
15:00	G4-10 インド北西部ラダックヒマラヤShyok縫合帯における含アルバイト斑晶塩基性片岩 ○ Thanh Ngo Xuan(岡山理大)・板谷徹丸(岡山理大・自然科学研)・Ahmad Talat(デリー大)・小嶋 智・大谷具幸(岐阜大)・永広昌広(東北大)	G1-01 伊豆・小笠原弧、孀婦岩構造線周辺の見山・海丘群の火山岩岩石学 ○ 岡村 聡(北教大札幌)・坂本 泉(東海大)・金 容義(東海大)・石塚 治(産総研)・湯浅真人(産総研)富士原敏也・藤岡換太郎(JAMSTEC)・倉本能行・前田仁一郎(北大)
15:15	G4-11 南インドのグラニユライト帯南部における黒雲母K-Ar年代-高温変成作用後の冷却過程- ○ 横山大樹(岡山理大)・Sajeev Krishnan(韓国延世大)・板谷徹丸(岡山理大・自然科学研)	G1-02 北部九州玄武岩類中のホウ素含有量の時間的・空間的変化 ○ 三好雅也・下野 まどか・長谷中利昭(熊本大・院自然)・佐野貴司(国立科博)・福岡 孝昭(立正大・地球環境)
15:30	G4-12 関東山地・三波川帯の碎屑性ジルコン年代:三波川帯の原岩は秩父帯起源か? ○ 堤 之恭(国立科博)・宮下 敦(成蹊高)・日高 洋(広島大)	G1-03 炭酸塩マグマとケイ酸塩マグマの不混和現象の直接観察 ○ 川本竜彦(京大・理・地球熱学)・神崎正美(岡大・地球物質科学)
15:45	G4-13 四国西部、中期中新世砥部ホルンフェルスにおける部分融解、メルト移動および結晶作用 ○ 榊原正幸(愛媛大・院理工)・住友真弓	G1-04 実験岩石学からみたアダカイト質マグマの成因とその問題点 ○ 土谷信高(岩手大・教育)川寄智佑(愛媛大・理)・木村 純一(島根大・総合理工)
16:00	G4-14 四国三波川帯・東平変はんれい岩体の全岩化学組成と高Na珪質角閃岩の成因 ○ 宮城康夫(筑波大・生命環境)	G1-05 四国中央部三波川変成帯の緑泥石帯の泥質片岩に産する含水Ca-Al珪酸塩鉱物 ○ 新正裕尚(東経大)・鍵谷真男(京大・理)・後藤篤(兵庫県立大・理)・酒井千尋(京大・理)
16:15	G4-15 丹沢深成岩体の接触変成作用と定置深度 ○ 井上朋香(横国大)・有馬 眞(横国大・環境情報院)	G1-06 Long-lived and cold continental subduction of Baltica towards 200 km depth ○ Spengler Dirk(Utrecht Univ., Kyoto Univ.) Brueckner Hannes K.(CUNY, Columbia Univ.)・van Roermund Herman L.M.・Drury Martyn R.(Utrecht Univ., The Netherlands)
16:30	G4-16 長野県伊那地方領家帯高遠花崗岩の岩石学的研究 ○ 金山 賢・大場孝信(上越教大・自然系)	G1-07 上部マントルにおけるかんらん岩の地震波速度 ○ 松影香子(茨城大・理)
16:45	G4-17 室戸岬斑れい岩の斜長石組成累帯構造の多様性 ○ 星出隆志・小畑正明(京大・院理)	

9月24日(月) 口頭発表 9:00-11:15		
9月 24日 午前	理学部1号館中央棟 2F 小柴ホール	理学部化学本館 2F 1204室
	K6:生命・環境鉱物(9:00-11:30)	K1:地球内部の鉱物と物性(9:00-11:45)
	座長:赤井純治, 小暮敏博	座長:永井隆哉, 土屋卓久
9:00	K6-01 マンガンジュールの電顕鉱物学 第二報: X線CTとTEMによる組織的特徴とその成因 ○赤井純治(新潟大・院自然)・土山明(阪大・院理)・秋山茂樹(新潟大・院自然)	K1-01 MgSiO <sub>3</sub> イルメナイト、ペロブスカイトの低温熱容量・エントロピーと高圧相平衡関係 ○赤荻正樹・梶谷浩・森田智子(学習院大・理)・川路均・阿竹徹(東工大・応セラ研)
9:15	K6-02 コロリスの結晶方位解析 ○猿渡和子(東大・院理)・尾崎紀昭(東大・農)・長澤寛道(東大・農)・小暮敏博(東大・院理)	K1-02 MD計算によるNaCl-B2高圧相の温度-圧力-体積状態方程式 ○松井正典(兵庫県大・生命理)
9:30	K6-03 蘚苔類に見いだされたケイ酸塩鉱物について ○芳賀信彦・田路陽子・石村進(兵庫県立大・理)	K1-03 ポストペロブスカイト相転移へのFeAlO <sub>3</sub> 成分の影響 ○浜根大輔・藤野清志・瀬戸雄介・永井隆哉(北大・院理)
9:45	K6-04 岩石間隙水の遠心分離抽出: 電気二重層の影響 ○横山正・中嶋悟(阪大・院理)・村上隆(東大・院理)	K1-04 Ca <sup>2+</sup> -Ti <sup>4+</sup> -O <sub>3</sub> -Y <sup>3+</sup> -Ga <sup>3+</sup> -O <sub>3</sub> 固相関係 ○囊聡子・永井隆哉・瀬戸雄介(北大・院理)
10:00	K6-05 高アルカリ環境における圧縮スメクタイトの溶解・変質 ○高山英樹(北大・院工)・筒井政則(金大・院自然)・佐藤努・米田哲朗(北大・院工)	K1-05 MnSiO <sub>3</sub> の高圧相関係とペロブスカイト構造 ○鈴木啓介・藤野清志・浜根大輔・瀬戸雄介・永井隆哉(北大・院理)
10:15	K6-06 オマーンオフィオライトにおける高アルカリ泉の湧出とハイドロタルサイトの生成 ○森本和也・佐藤努・安楽総太郎・浅井篤史・米田哲朗(北大・院工)	K1-06 下部マントル鉱物中の鉄の圧力誘起スピン転移と弾性特性への影響について ○土屋卓久(愛媛大・地球深部)
10:30	K6-07 異なるpH条件下でのアモルファスシリカの溶解速度に及ぼすBSAの影響 ○河野元治・小保方寿峰(鹿大・理)	K1-07 高圧鉱物中の水素拡散とマントル遷移層における水分分布 ○大谷栄治・工藤貴英・Litasov Konstantin(東北大・院理)
10:45	K6-08 アロフェン、イモゴライトによる生体アミノ酸の吸着挙動 ○橋爪秀夫(物質材料研)	K1-08 410km不連続面直上で生成されるマグマの含水量 ○井上徹・小嶋花奈・入船徹男(愛媛大・地球深部)
11:00	K6-09 風化モデルによる先カンブリア時代の気酸濃度変動の推定 ○横田浩平・村上隆(東大・院理)	K1-09 第一原理電子状態計算によるδ-AlOOHの高圧相の探索 ○土屋旬・土屋卓久(愛媛大・地球深部)・佐野亜沙美(東大・物性研)・大谷栄治(東北大・院理)
11:15	K6-10 キャンセル	K1-10 Fe <sub>3</sub> Cの高温高圧下での安定性について ○永井隆哉・瀬戸雄介・浜根大輔(北大・院理)・佐多永吉(IFREE)・藤野清志(北大・院理)
11:30		K1-11 初期地球マグマオーシャンと現在の核マントル境界における珪酸塩と溶融鉄の化学反応 ○境毅(東北大・融合研)・大谷栄治・寺崎英紀・宮原正明(東北大・院理)・西嶋雅彦(東北大・金研)・亀卦川卓美(高エネ研)・平尾直久(SPring-8)・佐多永吉(IFREE)・大石泰生(SPring-8)

9月24日(月) 口頭発表 9:00-12:00

9月		理学部化学本館 3F 1304室	理学部化学本館 4F 1404室
24日		G6:惑星, 隕石科学 (9:00-12:00) 座長:三河内岳 (9:00-10:00) 座長:瀬戸雄介 (10:00-11:00) 座長:橘 省吾 (11:00-12:00)	U2:岩石・鉱物・鉱床学一般 (9:00-11:00) 座長:角替敏昭 (9:00-9:30, 10:30-11:00) 座長:中野伸彦 (9:30-10:30)
午前			
9:00	G6-06	衝撃溶融したHコンドライト(Y-791088)の記載岩石学 ○ 新原隆史(総研大・極域)・今栄直也・小島秀康(総研大・極域, 極地研)	U2-01 炭酸塩/シリカ鉱物接触部における開放系熱水流動による鉱物形成反応実験 ○ 磯部博志(熊本大・院自然)・有馬智裕(熊本大・理)
9:15	G6-07	斜長石の非晶質化と高圧相の結晶化に対する温度-圧力-時間条件の実験的制約:衝撃を受けた隕石への適用 ○ 久保友明(九大理)・木村 真(茨城大)・西 真之・富永愛子・加藤 工(九大理)・亀掛川卓美(高工ネ研)・舟越賢一(JASRI)	U2-02 蛍光X線分析法による岩石の主成分・微量成分分析と補正法の評価 ○ 小笠原正継(産総研)・水平 学(スペクトリスPANalytical事業部)・下田 玄(産総研)
9:30	G6-08	Mid-infrared spectroscopy of experimentally shocked murchison CM2 matrix: Comparison with astronomical spectra of circumstellar dust ○ Morlok Andreas (Kobe Univ.)・Koike Chiyoe (Osaka Univ.)・Tomioka Naotaka・Tomeoka Kazushige (Kobe Univ.)	U2-03 北海道ニカンベツかんらん岩体中の硫化鉱物の産状 ○ 新藤和安(筑波大・生命環境)・林 謙一郎(筑波大・生命環境)
9:45	G6-09	始原的炭素質コンドライトAcfer 094中の <sup>17,18</sup> Oに富む物質の鉱物学的記載 ○ 瀬戸雄介・坂本直哉・坂本尚義・藤野清志(北大・院理)	U2-04 かんらん石族鉱物のラマン分光分析 毛利 崇・○ 榎並正樹(名大・院環境)
10:00	G6-10	放射光を用いたスターダストトラックの研究:突入彗星塵粒子の推定 ○ 土 山明・飯田洋祐・岡崎隆秀(阪大・院理)・中村智樹・城後香里・坂本佳奈子・嘉数勇基(九大・理)・門野敏彦(阪大・レーザー研)・上杉健太郎(JASRI)・中野 司(産総研)・野口高明(茨城大・地球環境)	U2-05 ざくろ石の組成累帯構造と流体包有物の組成変化からみた阿武隈変成岩の温度圧力流体履歴 ○ 大山広幸・角替敏昭(筑波大・生命環境)
10:15	G6-11	EBSDによる炭素質コンドライト中の新鉱物(andyrevanoviteとdmitryivanovite)同定と形成環境について ○ 三河内岳(東大・院理)・Z. Michael (NASA-JSC)・立川統(極地研)・小松睦美(東大・院理)・I. Marina(ベルナドスキー研)・Le Loan(ジェイコブス)・G. Matthew(パリ第11大)	U2-06 南部アフリカ・リンポポ帯の超高温グラニュライトにみられるサフィリン+石英+十字石組み合わせの形成過程 ○ 角替敏昭(筑波大・生命環境)・Ellis D.J.(ANU)・van Reenen D.D.(ヨハネスブルグ大・地質)
10:30	G6-12	分子線エピタキシー型装置によるフォルステライトとケイ素に富むガスの反応実験 ○ 橘 省吾・永原裕子・小澤一仁(東大・院理)	U2-07 北部ベトナム・ソマ縫合帯にみられる大陸衝突域深部での地殻溶融現象 ○ 中野伸彦・小山内康人(九大・比文)・大和田正明(山口大・理)・宮本知治(九大・院理)
10:45	G6-13	星周環境における結晶フォルステライトの蒸発異方性 ○ 瀧川 晶・橘 省吾・永原裕子・小澤一仁・横山聖典(東大・院理)	U2-08 東南極ドロンニングモードランド・セールロンダーネ山地の変成作用再考 ○ 小山内康人(九大・比文)・土屋範芳(東北大・院環境)・大和田正明(山口大・理)・豊島剛志(新潟大・理)・白石和行(極地研)・足立達朗(極地研)
11:00	G6-14	フォルステライトと金属徹の凝縮カイネティクスと珪酸塩/金属化学分別 ○ 永原裕子(東大・院理)	
11:15	G6-15	拡散反射スペクトル吸収帯のフィッティング法について ○ 宮本正道(東大・院理)・荒井朋子(極地研)・山本彩(RESTEC)・小松睦美・三河内 岳(東大・院理)	
11:30	G6-16	輝石3相の共存する北西アフリカNWA産ユレイライト ○ 武田 弘(大・理, 千葉工大・現代GP)・大槻まゆみ・石井輝秋(東大・海洋研)・山口 亮(極地研)・井上真治(ホリミネラロジー)	
11:45	G6-17	Y000027, Y000047, およびY000097レールゾリティック・シャーゴットイト火星隕石の鉱物学・岩石学 ○ 今栄直也(極地研)・池田 幸雄(茨城大・理)	

9月24日(月) ポスターセッション 理学部1号館中央棟 3F 336室

12:30-13:30 コアタイム

9月24日(月) 口頭発表 14:00-15:45

9月	理学部1号館中央棟 2F 小柴ホール	理学部化学本館 2F 1204室
24日	K8:記載鉱物学 (14:00-15:45)	K2: 鉱物の物理化学 (14:00-15:00) 座長: 黒澤正紀
午後	座長: 赤坂正秀・宮脇律郎	K7: 鉱物の合成と応用 (15:00-15:45) 座長: 杉山和正
14:00	K8-01 福岡県河東鉱山産の新鉱物、宗像石 ○松原 聡(国立科博)・毛利孝明(香川県水道局)・宮脇律郎・横山一己(国立科博) 中原理栄(香川県産業技術セ)	K2-01 Goalpara ユレイライト隕石中のダイヤモンドの生成メカニズム ○中牟田義博(九大・博)
14:15	K8-02 中国内モンゴル白雲鄂博産の新鉱物、張培善石 島崎英彦(国立科博, 東大)・○宮脇律郎・横山一己・松原 聡(国立科博)・楊 主明(中国科学院)	K2-02 カルシウム角閃石の赤外格子振動バンドの帰属決定 ○石田清隆(九大・比文)・Jenkins David (NYU)・Hawthorne Frank(マニトバ大学)
14:30	K8-03 埼玉県小松鉱山から産するバナジウムを主成分とする鉱物 ○山田 隆・滝沢 実(鉱物同志会)	K2-03 含水微結晶質シリカ(玉髄)中における水の脱水挙動の赤外分光その場観測 ○福田惇一・中嶋 悟(阪大・院理)
14:45	K8-04 岡山県大佐山三郡変成岩に産する含クロム珪酸塩鉱物の産状と化学組成 一特に含クロムパンペリー石について一 ○浜田麻希(島根大・総合理工)・阪本志津枝(日本電子データム)・赤坂正秀・高須 晃(島根大・総合理工)	K2-04 溶解時にカルサイト表面に生じる五角形のエッチピット ○吉野 徹・鍵 裕之(東大・院理)
15:00	K8-05 新潟県系魚川地方のコランダムに伴うプライスワーク雲母とストロンチウムに富む雲母 ○宮島 宏(フォッサマグナミュージアム)・松原聡・宮脇律郎(国立科博)	K7-01 フラックス法によるアノーサイト結晶の合成 ○阿部利弥・宇都宮 誠(山口大・理)
15:15	K8-06 京都府法花寺野および福井県藤井鉱山産満鑿ざくろ石-大和ざくろ石固溶体系列 ○遠藤俊祐・榎並正樹(名大・院環境)・萩原昭人	K7-02 白鉛鉱( $PbCO_3$ )から方鉛鉱( $PbS$ )への交代作用の実験的研究 ○田村維都江・鹿園直建(慶大・理工)・中田正隆(東学大・教)
15:30	K8-07 山口県萩市笠山火山産安山岩質スコリア中のカンラン石におけるFeの酸化状態 ○赤坂正秀・米田真理(島根大・総合理工) 永尾隆志(山口大・理)・永島真理子(キール大)	K7-03 クリンカー添加によるセメントクリンカー焼成温度への影響 ○小松隆一・鈴木 重行(山口大・工)・山下牧生(宇部三菱セメント研)

9月24日(月) ポスターセッション 理学部1号館中央棟 3F 336室

12:30-13:30 コアタイム

9月24日(月) 口頭発表 14:00-15:30

9月		理学部化学本館 3F 1304室	理学部化学本館 4F 1404室
24日	午後	G6:惑星、隕石科学 (14:00-15:30) 座長:富山隆将 (14:00-14:45) 座長:荒井朋子 (14:45-15:30)	G3:元素の移動と地質資源 (14:00-14:45) 座長:山田亮一 K4:鉱物の成長挙動、相転移 (14:45-15:15) 座長:月村勝宏
		14:00 G6-18 NWA2737シャシナイトとLEW88516レールズライト質シャーゴッタイト中カンラン石の透過型電子顕微鏡観察 ○ 栗原大地・三河内 岳 (東大・院理)	G3-01 マグマ熱水系における元素の起源と移動プロセス-秋田県玉川温泉強酸性温泉水の検討- ○ 佐藤比奈子・石山大三・水田敏夫・山元正継 (秋田大・工資)・中野孝教 (総合地環研)
14:15	G6-19 イオンマイクロプローブによる月隕石Yamato 983885の希土類元素定量分析 ○ 海田博司 (極地研, 総研大・複合)・荒井朋子 (極地研)	G3-02 島弧下マントルかんらん石における異常なNiの濃集 ○ 石丸聡子(金沢大・理)・荒井章司(金沢大・院理)	
14:30	G6-20 月裏側地殻の岩石・鉱物学 ○ 荒井朋子 (極地研)・武田 弘 (東大・理)・山口 亮 (極地研)・大竹真紀子 (JAXA)	G3-03 海底熱水鉱床へと運搬・固定される遷移金属:特に鉱石および関連火成岩類の中のニッケル/コバルト比の特徴 ○ 水田敏夫(秋田大・工資)・宮池周作(三菱マテリアル資源開発)	
14:45	G6-21 ユークライト母天体地殻の熱変成作用と部分熔融について ○ 山口 亮 (極地研)・Barrat Jean-Alix (UBO-IUEM)・白井直樹・海老原 充 (首都大)・岡本千里 (名大)	K4-01 四ほう酸リチウム単結晶中の散乱体 ○ 小松隆一・城 勇介・藤原千典 (山口大・工)・藤野 茂 (九大・工)	
15:00	G6-22 カンラン石の微量元素ゾーニングによるパラサイト隕石の冷却速度の見積もり ○ 富山隆将(極地研)・Gary R. Huss(ハワイ大)	K4-02 地球表層物質中におけるナノ結晶の存在形態と熱安定性 ○ 宇都宮 聡 (九大・理)	
15:15	G6-23 米国バリンジャー隕石孔の炭素物質の形成について ○ 三浦保範 (山口大・理工)		